

ただいま、おかえりって言いあえるうちに みんなで広げよう、 シトラスリボンプロジェクト

シトラスリボンプロジェクトとは

◆ABOUT◆

コロナ禍で生まれた差別、偏見を耳にした愛媛の有志がつくったプロジェクトです。このプロジェクトに賛同した私達は、ここ栃木県でも、このプロジェクトを一人でも多くの県民の皆様にご賛同いただきたく、三人の有志で「IN とちぎ」を立ち上げました。このプロジェクトは愛媛特産の柑橘類にちなみ、シトラス色のリボンや専用ロゴを身につけて、「ただいま」「おかえり」の気持ちを表す活動を広めています。

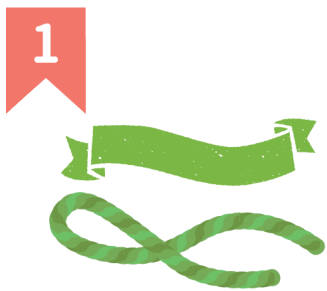
リボンやロゴで表現する3つの輪は、地域と家庭と職場（もしくは学校）です。「ただいま」「おかえり」と言いあえるまちなら、安心して検査を受けることができ、ひいては感染拡大を防ぐことにつながります。

また、感染者への差別や偏見が広がることで生まれる弊害も防ぐことができます。感染者が「出た」「出ない」ということ自体よりも、感染が確認された“その後”に的確な対応ができるかどうかで、その地域のイメージが左右されると、考えます。コロナ禍のなかに居ても居なくても、みんなが心から暮らしやすいまちを今こそこことちぎでも、コロナ禍の“その後”も見すえ、暮らしやすい社会をめざしませんか？

シトラスリボン IN とちぎ



感染が確認された方々、私たちの暮らしを守り、支えてくれる方々（医療従事者・「エッセンシャルワーカー」の皆さまなど）が、それぞれの暮らしの場で「ただいま」「おかえり」と言いあえるまちでありますように。そんな想いを共有していただける方に、次にご紹介する方法で、あなたの住むまちにエールを送っていただけると嬉しいです。



1

シトラスカラー（柑橘をイメージした色）のリボン・紐などを準備します。リボンの色や材質はあなたの創意工夫で。



2

その材料で「地域・家庭・職場（or 学校）など」を示す「三つの輪」をつくれば、「シトラスリボン」のできあがり。結び方は願いが叶うといわれている「叶結び」などをはじめとした結び方を参考に。



3

この「シトラスリボン」を身につけたり、おうちの玄関や郵便受けなどに掲示してみたりしてください。「元気ですか？」「また会いましょう！」のことばとともに贈りあうのもよいかもしれません。



4

リボンの画像をSNSで発信することも、このプロジェクトが広まるきっかけになります。
#シトラスリボンINとちぎ
#シトラスリボンプロジェクト



シトラスリボンプロジェクト
IN とちぎフェイスブックページ

シトラスリボンプロジェクト from えひめ様 HP より一部引用